

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり		
施策	③ 交通安全対策の推進			
主な取組	交通安全施設の整備	実施計画 記載頁	120	
対応する 主な課題	交通安全対策として、信号機の増設をはじめ、交通安全施設の整備が求められており、さらに、老朽化した信号機や道路標識、消えかかっている道路標示等の更新についても充実強化する必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	安全で快適なゆとりある道路空間を創出するため、防護柵や道路照明、視線誘導標等の交通安全施設を設置し、交通事故の抑制を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	事故危険 箇所指定					→	県
	防護柵や道路照明等、交通安全施設の整備						
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
公共交通安全事業統合補助 県単交通安全施設整備事業費 地域活力基盤創造交付金事業費(効果促進)管理	719,094	365,403	県管理道路において、交通事故危険箇所及び市町村や地域から要請のある箇所等において防護柵や道路照明等の交通安全施設を整備した。【一括交付金(ハード)、県単等】	再掲 1-(7)-1 72頁
活動指標名			計画値	実績値
事故危険箇所指定			-	-
-			-	-
推進状況	取組の効果			
<input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	公安委員会等の関係機関との調整により、事故危険箇所の選定を行った。今後、事故危険箇所の指定がなされることになるが、指定された危険箇所における整備を推進することで安全な道路空間が創出され、交通事故の抑制に資することができる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
公共交通安全事業 県単交通安全施設整備事業費 交通安全対策事業費 県単交通安全調査事業費 効果促進事業(管理)	713,178 (326,209)	H25において事故危険箇所の登録予定、死傷事故抑制に向けた対策を実施する。【一括交付金(ハード)、県単等】	-

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

ほぼ計画通りに進捗しており、前年度同様事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
交通事故死者数	45人 (23年)	—	39人以下	—	4,612人 (23年)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明 平成24年度に公安委員会等の関係機関との調整により事故危険箇所の選定を行った。平成25年度は危険箇所の指定・登録を行い、当該箇所を重点的に整備することにより死傷事故発生件数の抑制につながるが見込まれる。

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

国土交通省が指定・登録する交通事故危険箇所以外にも、狭隘な道路などにおいて交通安全施設が必要な箇所が多く存在する。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

指定・登録される危険箇所を優先に整備する必要があるが、その他の箇所についても地域の状況を把握し、優先順位を付けて交通安全対策を推進する必要がある。

4 取組の改善案(Action)

関係市町村や地域と連携して現場の状況に応じた最適な安全確保の方策を検討し、交通事故危険箇所以外についても交通安全施設の整備を推進する。